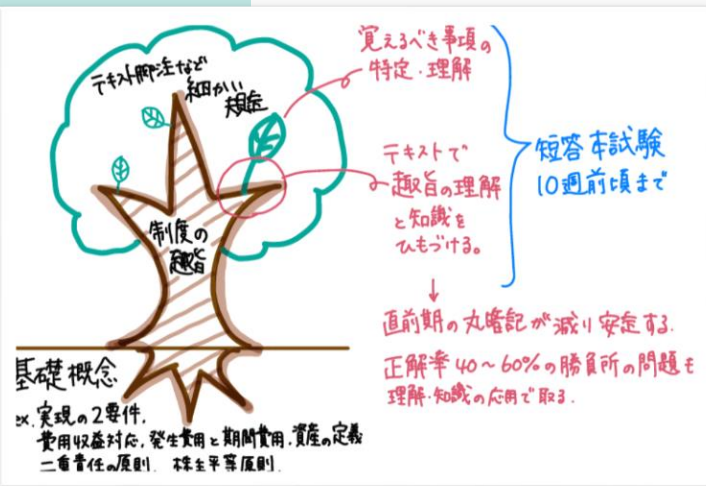


2023.9.26(火)19時-実施 TAC平林 アーカイブ版



24目標

12月短答直前期セミナー

担当：平林/久野

- ✓ スケジュールの立て方・直前期のポイント
- ✓ 計算科目のメンテナンス
- ✓ 当日のポイント・持ち物リスト
- ✓ 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

- 0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲) [p.4]
- 1. 短答直前期 スケジュールの立て方 [p.7]
- 2. 短答直前期のポイント 3 つ [p.9]
- 3. 当日のポイント・持ち物リスト [p.21]
- 4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合 [p.29]
- 5. 参考資料(直前期各科目のポイント等/公式LINE/LINEオープンチャット等)
[p.34-]

0. セミナーの目的・合格に必要な力3つ（再掲）

1. 短答直前期 スケジュールの立て方
2. 短答直前期のポイント3つ
3. 当日のポイント・持ち物リスト
4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合
5. 参考資料（直前期各科目のポイント等）

「2つの面で、時間対効果を高める」

自習時の時間対効果

定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで 迷いや不安がなく、**学習に集中**できる。

質問・相談などサポート利用時の時間対効果

学習ペースがずれたり成績が伸び悩んだ時にも…



定期的にセミナーで、
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



自力でもある程度立て直せるようになる。
質問・相談時、時間内でより**具体的な話**が可能になる。

理解 暗記 試験中の行動

1. 理解 複数論点を比較できるか？具体例は挙げられるか？

★理解していると、「丸暗記」の量が減る。10月半ば頃までは理解も重視。

★問題演習など、アウトプットを通じて理解不足を探す。

×「理解・暗記してから問題演習を始めよう」

2. 本試験当日に、知識を引き出す。暗記・ピーク合わせ。

「見たらわかる」「知っている」だけでは不十分。覚え切ることができるか？

本試験当日、【よどみなく】引き出せるか？

最後の2週間、全科目ピークを合わせられるか？

★メリハリを付ける。まず重要かつ苦手な論点をつぶす→得意な論点も点検

3. 得点に繋げる（時間配分・読み飛ばし対策など試験中の行動）

自分なりに答練に向けて準備して受験し、自分のミスの傾向を掴む。工夫をする。

★完璧主義は封印する。本試験までに復習して伸ばす。

0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲)

1. 短答直前期 スケジュールの立て方

2. 短答直前期のポイント 3 つ

3. 当日のポイント・持ち物リスト

4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

5. 参考資料 (直前期各科目のポイント等)

短答直前期 スケジュールの立て方

TAC

苦手つぶし

～10月半ば 計算強化・理解強化(残っている講義消化)
苦手論点の特定・強調(回転下準備)・復習。

10月後半 直前答練2に向けて、苦手つぶし。
暗記と多少のピーク合わせを試す。

10月末など直前答練2 (完成度60-80%など) ※校舎によって実施時期多少相違あり

11月前半 全国模試に向けて、さらに苦手つぶし。
暗記・ピーク合わせ。

11/18・20 全国模試 (完成度70-90%など)

模試後1週間 多少の苦手つぶし(直前答練3でやらかし対策など試す)

11/27-**ラスト2週間** 本試験に向けて**バランス良く!** 得意論点も点検。

★計算は疲労の溜まった状態で程良く忘れた問題を数問解き、正確に解く練習。

12/10(日)本試験 (重要な論点を中心に、自分なりに完成度100%を目指す)

バランス重視

0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲)

1. 短答直前期 スケジュールの立て方

2. 短答直前期のポイント 3 つ

3. 当日のポイント・持ち物リスト

4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

5. 参考資料 (直前期各科目のポイント等)

短答直前期のポイント3つ

1. インプット・アウトプット双方を強化。偏り過ぎない。 p.10-
テキストベースの学習とは？（問題をきっかけにしてテキストを復習）
管理会計論 時間配分について/ふせんの活用例
2. メリハリを付けつつ、毎日全科目取り組む。 p.14-
得意科目を放置しない。
特に、最後の2週間のピーク合わせ/計算のメンテナンス
直前期 科目間のバランス例
3. 体調・メンタル管理。睡眠を大事に。 p.16-



1.インプット・アウトプット双方を強化。

インプット面 知識を体系的に「覚えている」「使える」状態に。

「体系的な知識」…今テキスト全体・章全体のうち

どの論点に取り組んでいるか？ **立ち位置を意識。目次活用。**

問題集や答練・アクセスの復習をきっかけにして、
テキストの理解不足・暗記不足を特定。

★**まずは重要かつ苦手な論点から。ふせんやマークでメリハリ。**

単にテキストを「読む」のではない。問題や目次をきっかけとして、
脚注の**出題のされ方を考える**・遠目で見て思い出す。

★**本試験直前2・3週間は、得意なものも点検。**

アウトプット面 時間配分/やらかし対策/正誤判断力

残りの答練・全国模試・自習を通じて、時間配分や試験中の行動などを修正。

正解した問題・記述についても、

★**管理・監査論は、1問1答形式だけでなく、
答練難易度B など4肢形式での微妙な判断練習も意識。**

テキストの周辺知識・別のパターンまで想起できるか？比較しながら押さえる。

あやふやな点がないか**テキストの周辺論点まで**丁寧に復習する。

具体的な問題を【きっかけ】にして（アウトプット）、
抽象的・一般的な記述である
テキストを【周辺まで】つぶす（インプット強化）。

問題の周辺論点を**比較**して想起（**他の場合分け**や**理屈**など）
テキストに戻って**周辺のあやふやな箇所**を確認

★受け身で「読む」のではなく、出題者側の気持ちで能動的に取り組む。



応用的な問題も含めて、
初見の問題にも対応できるようになる。

作業量の多い計算問題は、
解けると思っても一度飛ばす。2周目で解く。
数字が合わない場合、**執着せず飛ばすこと。**
(解き始めの時刻をメモするなど)

試験中に計算ミスの原因を特定できるケースはあまりない。
出題ミスで解なしの可能性もある。

×「~~せつかくここまで時間掛けたから、取らないともつたいない……~~」

参考

初学者向け

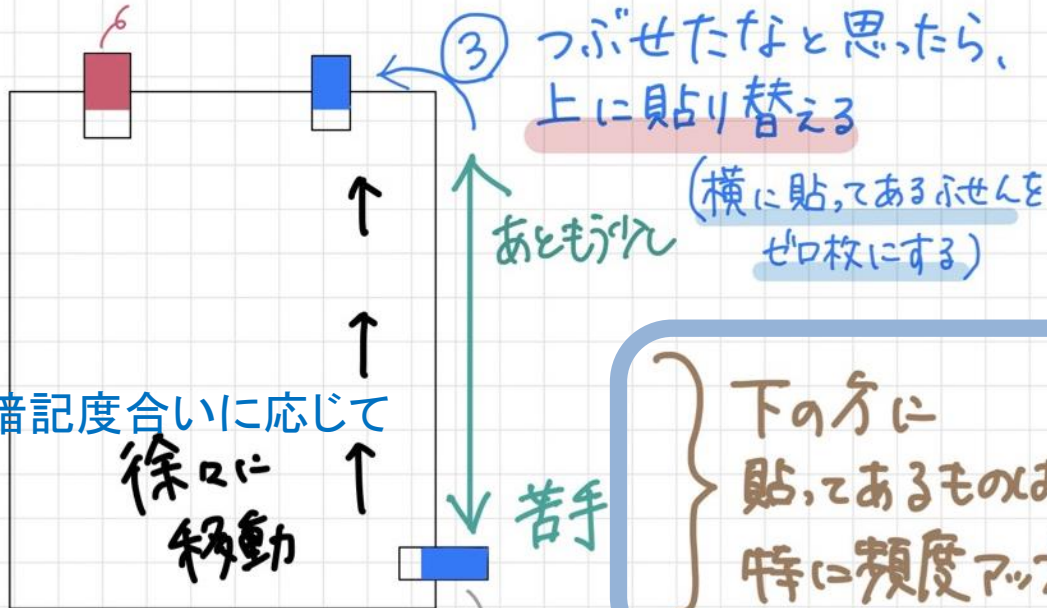
安達講師 上級最終回、岡本講師 上級11回目3コマ目

リスタート生向け

短答対策講義 岡本講師 10回目3コマ目など

ふせんの活用例 暗記について

前々日・前日に確認するページには
目立つ色のふせん



テキストのうち覚えにくい箇所について、
消せるペンで強調したり、ふせんを貼る。

まずは、重要かつ苦手な箇所を
つぶしていく。
複数論点を比較しつつ、
結論をおさえる。

★模試前に覚えた！と思ったものも、
放置すると抜けてしまう。

知識・記憶を新鮮な状態にするため、
特に本試験前の2週間は
得意なものも含めてざっと点検。

2.メリハリを付けつつ、毎日全科目取り組む。

大きく足を引っ張る科目がないように
重要かつ苦手な論点・科目に多めに充ててよいが、
10月後半からは、大きく放置し過ぎないこと。

特に

本試験直前2週間はこれまで培った武器を、使える状態にするため磨く。

科目間のバランスと

インプット/アウトプットのバランス重視！

毎日多少のアウトプット練習をしつつ、
得意な論点も含めてテキストのインプット点検。

×「~~苦手な科目に集中、A判定の科目や得意な論点は最後まで放置しておこう~~」

×「~~得意な計算科目は解答時のポイントやテキストを目で見るだけにしよう~~」

計算科目 ピーク合わせのポイント

ポイント 知識の網羅性・正確性・スピード

特に **本試験直前2週間** は…

☑ **アウトプット練習** (正確性・やらかし対策/スピード維持)

社会人の場合、管理20-30分、財務30分-1.5時間など

どんなに得意であっても、毎日少し電卓を使って演習をする！

★計算の配点は大きいため、最後の1週間は少し増やしても良い。

★**夕方など疲れたタイミング**で…

程良く解き方を忘れた問題で、**正確性とスピードの塩梅**を試す。

☑テキストなどで、**細かい知識・場合分け**を1周確認。

特に管理テキスト脚注など注意。

計算科目 おすすめのメンテナンス方法

財務計算

程良く忘れた問題・苦手な問題を実際に解く（夕方はやらかし対策も意識）

周辺の場合分け・ポイント想起

★財務は必ず先に多少アウトプット！負荷を掛ける。



関連するテキスト等を点検（本試験前は1日1冊など）

管理会計論

理論の対策も兼ねて、テキスト目次から処理を場合分けで想起してから
脚注も含めて細かい暗記点検（本試験前は10日ほどで丁寧に1冊など）



翌日などに同じ論点の計算問題・理論問題を少し演習

例：費目別とCVP暗記確認→翌日に何かしら1問ずつ解く

★即座に処理・テキストを思い出せるか？

科目間のバランス例 短答直前期 2ヶ月

TAC

自習時間 配分例(講義以外)

復習時使用教材

財務計算 15~25%

アクセス・過去問集・答練・テキスト

管理会計論 15~18%

アクセス・答練・短答問題集・テキスト

企業法 20~25%

テキスト・短答問題集・短答答練・アクセス

財務理論 20~25%

テキスト・章扉word・テキスト目次・
短答式確認問題・短答答練・アクセス

監査論 18~20%

テキスト・短答問題集・短答過去問集
短答答練・アクセス

●計算科目は、一度固めるとメンテナンスの時間が低く抑えられる。

直前期2ヶ月は、アクセスや答練で問題演習→テキストへ戻る。▶自然と10-12日間ほどで論点を1周

★上記はあくまで一例。特に全国模試頃までは、必要があれば、多少バランスを崩してでも
テコ入れすること。大きく足を引っ張る科目をなくす。ラスト2週間は割り切ってバランス重視。

3. 体調・メンタル管理について

- **睡眠**を大事にする。午前中に日光を浴びるよう努める。
- しんどくなったら**上を向き、天井を見つめて**じっとする。

ネガティブな思考を自然と切り上げられる。

- 口癖や表情筋、姿勢で感情をコントロールする。

移動時など、気が付いた時に口角を上げる。肩甲骨を緩める。
短時間の筋トレも効果的。

- 質問コーナー等で相談し、目下2週間やることを絞る/明確化。
- 気になることを紙に書き出す。書き出したものを眺め、
長年の友達から相談を受けたと思って
アドバイスを考えてみる。

★成績が悪くても、最後まで食らいついていくこと。受験生の**正答率40%以上**の問題を意識。
最後の模試でE判定や総合4割程の場合でも、不足している力の分析・最後の猛烈な
追い込み・ピーク合わせにより、逆転合格するケースが毎年多い。**まずは平均**を目指す。

短答直前期のポイント3つ

- 1.インプット・アウトプット双方を強化。偏り過ぎない。
- 2.メリハリを付けつつ、毎日全科目取り組む。
得意科目を放置しない。
特に、最後の2週間のピーク合わせ/計算のメンテナンス。
- 3.体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲)

1. 短答直前期 スケジュールの立て方

2. 短答直前期のポイント 3 つ

3. 当日のポイント・持ち物リスト

4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

5. 参考資料 (直前期各科目のポイント等)

- 「想定外のことが必ず起きる」と心づもりしておく。
ex. 机の縦・横幅が小さい、隣の人の電卓の打撃で机が揺れる、財務計算で総合2問
- 胸を張って、会場へ乗り込む。
多少やり残したことがあっても、ここまで来たら開き直る。最後はメンタル勝負。
- 本試験の難易度や傾向は突然変わることがある。
当日は科目ごとの点数目標等は設定しない。
特定の科目や論点が難しい・簡単という先入観を持たずに、問題に向き合う。
- 終わった科目のことは、一切振り返らない。目の前の科目・問題に集中する。
仲間と答え合わせはせず、会釈のみなどとする。
周りの声が耳に入らないよう耳栓や音楽を用意。

当日のポイント2 緊張を味方につける

- トイレの鏡で毎回自分に向かって若干微笑み、これまでの頑張りをねぎらう。
- 手のひら中央にある緊張を和らげるツボ(労宮)を押しながら、息を長く吐く。しばらく続ける。
- 心臓がばくばくしたら、あとでいい思い出になると捉えて、脈を測ってみる(私は130回/分でした)。
- こめかみ/耳周り/額/手のマッサージや、肩甲骨/ひじのストレッチ。数回スクワットも○。
- 計算でやらかしがちなミスのメモなどに目を通す。

当日のポイント3 やらかしミスの対策

原因	対策例
①資料の読み飛ばし、 年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料脇に付す(右端改行付近が読み飛ばしやすい)。 事前にこれまでのやらかしミスまとめ等を振り返る。
②下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 月割計算がある論点は特に注意。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに下書きを大きく書く。
④電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑤電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速くする)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は、気持ちゆっくり 1・2度電卓を入れるなど。
⑥電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで指差し確認。電卓は体の近くで打つ。 
⑦指示をチェックしたが、 解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

【解答順の例】

理論部分 各問約2分ほどずつ



計算 1周目・・・簡単かつ作業量が少ない問題は解いていく

※作業量が多い、又は難しい問題は一旦飛ばす（財務は個別→総合）



計算 2周目・・・1周目で飛ばした問題のうち、

作業量が比較的少なく、解答プロセスが明確な問題を解く

計算科目



- 問題文を読み、問われていることを整理し、手順を思い浮かべる。
- 論点や見た目ではなく、あやふやな指示の有無・作業量などから、解き進めるべきか判断する。
- 解き進める場合、正確性を意識して解く。

★計算は答練を通じて難易度の見極め・時間配分の練習をする（そのためには事前準備が重要）。

理論科目



- 問題文を区切りながら読む。誤りを探し、目印を付ける。
比較的判断しやすい記述（短い・知っている記述）から手を付ける。
- 誤りの記述を2つ見つけ、消去法で○を選ぶ。○は積極的には判断しない。

当日のポイント5 試験中、困った時は

簡単な計算問題のはずなのに、数字が合わない。
難問が続き、頭が真っ白になった。

- » 一旦ペンを置き、上を向いて息を吐く。水を飲むなど仕切り直す。
計算は7分を超えたら一旦3とする、又は選択肢の差額で絞り、次へ。
特定の問題に執着しない。比較的簡単な問いに全力で取り組む。
難問については、時間が余ったら、理論の知識を応用して取り組む。

理論科目で、見たことの無い論点や長文の記述が出た。

- » 時計を見てから解く。
短め・知っている記述から検討。3分以上は掛けない。
関連分野のテキスト記述を思い出し、区切りながら×を探す。
一旦後回しもOK（戻り忘れないように、端を折ったり表紙にメモ）。

短答式試験 持ち物リスト①

- ☐ 受験票
- ☐ 写真票 (インターネット出願の場合)
- ☐ 時計 (試験会場には、通常は時計がない。ストップウォッチは音が出ないものは使用可能。)
- ☐ 電卓 (できれば2台) 
- ☐ マークシート記入用 鉛筆・シャープペンシル数本 (黒のB又はHB)
- ☐ 消しゴム2・3個 ※短答式試験は、修正テープは持ち込み不可。
- ☐ 定規 (管理会計 線形計画法などで使う可能性有り。)
- ☐ 財布 (緊急時タクシー代として、1万円は入れておく。)

- ☐ 確認する教材 (ふせんを貼ったテキスト、計算論点チェックリスト、やらかしミス一覧など。
目を通し切れる量に絞るのがおすすめ。)
- ☐ マーカー・色ペン (問題用紙にのみ、使用可能。読み飛ばし防止に有効。)
- ☐ 飲み物 (700ml以下のペットボトル。缶入り飲料は持ち込みができない。)
- ☐ ご飯 (眠くならないよう、昼食は食べ過ぎず、こまめにおやつを摂るなど。)
- ☐ おやつ (ナッツ、チョコ・キャラメル・ブドウ糖・ドライフルーツ、ミニようかんや梅干しなど。)

短答式試験 持ち物リスト②

その他必要に応じて

- ☐ 耳栓 (試験前の注意事項説明中は外す。) 休憩時間中、周囲の答え合わせの声遮断にも◎。
 - ☐ 頭痛薬・胃腸薬など
 - ☐ 替えのマスク
 - ☐ 替えのコンタクト、めがね、目薬
 - ☐ 休憩時用アイマスク
-
- ☐ 冷却シート・ハンカチ・タオル
 - ☐ 上着・ひざ掛け・ティッシュ、雨天の場合替えの靴下など
 - ☐ 折り畳み傘 椅子に敷くクッションも使用可能(試験前、試験官に裏表を見せる)。
-
- ☐ A4サイズの問題用紙が入るバッグ (口を閉じられるもの。足下に置く。)
 - ☐ テンションの上がる音楽(もしくは集中用に雨の音なども◎)

0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲)

1. 短答直前期 スケジュールの立て方

2. 短答直前期のポイント 3 つ

3. 当日のポイント・持ち物リスト

4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

5. 参考資料 (直前期各科目のポイント等)

5月短答目標の場合

★10月半ばや10月末までに講義が終わるのであれば、
特段の事情が無い限りは12月短答に向けて取り組む！
11月模試までに苦手をつぶす。アクセス・答練で復習。

TAC

年末までの目標

年内に財務計算上級講義・管理会計上級講義終了

講義受講済みであれば、財務・管理はアクセスを使って復習開始

講義受講日程シミュレーターexcelファイル活用

(Web School 受講生専用ページ→8月セミナーアーカイブ)

12月短答で既習分野について復習して受験(特に計算科目)

他の短答科目の上級講義も受講終了(遅くとも2024年2月頃には)

★未受験の実力テストがあれば、
受験・提出する。

(全国模試以外は、締切を過ぎても
採点・成績反映される。)

準備が多少不十分であっても、
自分の決めた日程で受けてしまうこと。

本試験までに効率的・効果的に力を伸ばせる。
アクセス・答練自体が復習教材として役立つ。

科目間のバランス例 12月短答まで

自習時間 配分例(講義以外)

財務計算 60~80%

※9割方アウトプットのイメージ

管理会計論 20~40%

※アウトプットとテキスト確認が半々などのイメージ

企業法 ~10%

財務理論 ~15%

監査論 ~10%

復習時使用教材

トレーニング(特に1~4)・過去問集・
テキスト・実力テスト・既習分野のアクセス
パワーアップ問題(特に構造論点)
基礎答練

トレーニング(詰まったら例題集)・テキスト
既習分野のアクセス・基礎答練

テキスト太枠・図・講義中のメモ書き、
ミニテスト、短答問題集(特に★付きのA)

章扉word・テキスト目次・テキスト
短答式確認問題

★計算演習後同じ分野を復習すると効果的
重要コンセプト・学習上のポイント・テキスト・
短答問題集

ポイント:講義を受けたら、翌日に少し復習。まずは計算重視。

出題範囲のある計算アクセス・基礎答練は、12月短答までに活用したい。

学習がストップしている場合

1. 通学校舎の日程の組み方を参考にする。

受講生サイト @C.P.A 講義日程 早稲田・日吉校短期集中クラスなど

[@CPA 公認会計士講座の日程 |
資格の学校TAC\[タック\] \(tac-
school.co.jp\)](https://tac-school.co.jp)



2. 完璧主義は封印する。

多少準備不足でも、実力テストやアクセス・答練を受験。復習に活用。

3. 積極的に各種サポートを利用する。

4. 学習環境を整える(次ページ)。

学習環境を整える

★自分の「やる気」「モチベーション」を当てにせず、**TAC**
「やる気がなくても自然と取り組める」ように各種環境を作る。

勉強場所や時間帯等をリストアップして試す。特にしっくりくる環境を定番化。

- 場所…自習室/図書館/カフェ/大学/電車/自宅(リビング/自室/ベランダ/風呂など)
- 時間帯…朝/午前/昼/午後/夕方/夜/移動時
- 相談環境(対面/オンライン)…講師/チューター【注】本試験は、毎年大きく傾向が変わる。できるだけ講師・チューターへ。
- ネットとの距離…スマホは移動時やリラックスタイムに/自習室に着いたらロッカーに入れる/
自宅に置いて外出/リビングに置く/日中は箱に入れて鍵を閉める/モノクロ表示にする
- 体調・メンタル面…睡眠 / 定期的な運動 / 前に進んでいる感覚を作る / 相談活用

通信生の場合

質問コーナーや校舎HR・個別相談会/交流会参加。

他の受講生の様子を知る・講師と話して方向性確認。早稲田・日吉の短期集中クラスに合流も◎。

可能であれば時折り校舎で自習や、スクーリング制度で会場受験(いずれも手続不要・当日会員証持参)。

社会人受験生の場合

想起・言語化による復習方法を活用する。机が使える時は計算演習。

また、転職や、週の勤務日数を減らす・休職/退職して受験に専念する選択肢も。就職サポートで一度相談。

0. セミナーの目的・合格に必要な力 3 つ (再掲)

1. 短答直前期 スケジュールの立て方

2. 短答直前期のポイント 3 つ

3. 当日のポイント・持ち物リスト

4. 5月短答目標の場合・学習がストップしている場合

5. 参考資料 (直前期各科目のポイント等)

- ・ 答練受験後の分析例・計算ミス分析
- ・ 各科目直前期のポイント
- ・ 12月短答以降のスケジュール
- ・ LINE公式アカウント/質問用LINEオープンチャット
- ・ その他各種サポート

徐々に知識が抜けていた（10月中アクセス一日1つとテキスト1冊でメンテしよう）

★内訳と原因を分析。対策を考える。

表タイトル読み飛ばし（マーク付けよう）

有価証券、SO、棚卸資産

時間がかかるBを解いて時間切れ
（作業量考えずに手を付けた。見直し練習）

例：財務 132 計算84 個別 A7/10問 B1/2 C0/1 総合4/6 A4/5（時間切れ。後で解けた。） B0/1（飛ばせた）

理論 48 5/9問 A5/7問 セグメント…手薄だった、減損…読み飛ばし（区切ろう）

B0/2問（本試験までにおさえる）

間違えた問題

- 計算科目 手を付けられなかった難易度A・B…**時間があれば解けたか、解説を読む前に試す。**
その他分析の詳細方法は次ページ。
- 理論科目 難易度A…テキストを見ながらなら正解できたか？読み飛ばしなどか？分析。
難易度B…どうすれば2択までたどりつけたか分析。テキスト該当ページが思い浮かんだか？
（難易度Cは、本試験直前にもう一度見るなど）

正解した問題

- 計算科目 難易度A…不安に感じた箇所はないか？下書きに向上の余地は？
難易度B…難易度Bになっている理由は？（難解or作業量）
作業量が多い場合、一旦飛ばす判断ができたか？
- 理論科目 **誤りの論拠**は合っていたか？あやふやな知識はないか？
周辺の重要な知識・基礎概念についても思い出せるか？

計算科目のミス分析について

Q.計算問題について、目標点数になかなか届きません。

間違えた問題について、どのように復習すればよいのでしょうか。

Q.解説を見たら全て理解はできますが、初見で正解ができません。

A.「なぜ初見で解けなかったか？」

特に、難易度の易しい問題について、
一問ずつ**徹底的に原因分析**をする。

主な原因

1. インプット不足(覚えていない、メンテナンス不足)
2. 時間切れ(時間配分ミス・スピード不足)
3. やらかしミス

難易度Bの問題 ……どんな理解があれば正解までたどりつけたか？

なぜ難易度Bになっているか？分析(手間？論点の難しさ？)。

間違えた問題だけでなく、正解した問題についても復習。



参考: 会計人コースweb記事「3つのミス分析で“計算力”を高めよう！」

<https://kaikeijin-course.jp/2022/10/07/53686/>

財務計算

★問題を解いて→周辺を想起・テキスト点検。やらかし対策。

output



実際に解く。 Last7日～10日間ほどは若干増やすのも◎。

ex. 「今日はテキスト1の論点に取り組もう」

→アクセス1や過去問集・答練のうち、現金・有価証券などの一部を解く

- **難易度の見極め・解答時間の見積り**

初見時に試す。答練復習時は、**丸ごと1回分ではなく、1問あたりで実施。**

- **スピード向上・維持** 少し負荷がかかる問題をアクセスや答練からピックアップ。

- **やらかしミス対策** ★**解き方を程よく忘れた問題**を使用。

夕方・夜などあえて**疲れている時間帯**に、実際に電卓を叩き、
1～数問**正確性を意識**して解く。

久しぶりに解く答練の一部や過去問「易」。全て直近数週間で解いている場合、トレ短など。

input



- **アウトプット後、周辺を想起。**

- **テキスト等で処理の場合分け等をざっと確認。**

特に最後の10日程は、アウトプット練習の後、テキストを1日1冊確認など。

2・3周目は見るべきポイントを把握しているため、自然と1冊20-30分ほどになるイメージ。

3・4回解いて数字を覚えたアクセスは？

負荷が全く掛からなくなると、先入観でなんとなく解く癖が付くケース有り。

何度か解き直して使う数字を覚えたアクセスは、
しばらくは使用目的を、場合分けやポイント想起・点検用に変える。
(2・3週間ほど置くと忘れるイメージ)

やらかし対策は、
久々に解く過去問集や答練の一部など、
解き方を程良く忘れた問題で行う。

★「この勘定科目が問われるはず」「ひっかけはここ」などの
先入観を持たずに問題に取り組むことを意識。

例：原則処理⇔容認処理、段階損益・B/S区分など

計算 基礎的な問題はある程度取れるが、あと一歩足りない場合

★例題や財理テキストについて、**P/L・B/S区分**を意識して点検する。

★自習時、1問あたりで時間を測り、正確性を意識しつつ

スピード感を持って解く。

過去問集を解いて計算テキストに無い記述があれば、理論テキストで併せて復習。

計算が苦手な場合、しばらくは毎日アクセス1～5（個別論点）と6～14（構造/上級論点）から一つずつピックアップして解くなど。

★今の自分にとって、**少し背伸びする難易度**の問題を解く。
負荷がかけられているか。

問題を解いたら、周辺の場合分けや相違点 まで思い出す。

ごく簡単な問題や、数字を覚えるくらい解いた問題は？

→卒業するか、解法プロセスの想起に使う。

（トレーニングは、アクセスの進捗に従って、
徐々に卒業していくイメージ）

財務理論

- ★短答問題集・アクセス等で、出やすい所や出方を知る。
テキスト上で出題予想・強調。10月中は理解を意識。
容認規定の要件・表示区分等を暗記。
- ★問題を解いたら、周辺想起・テキスト点検。

範囲が広いため、一日で複数ブロックを数十ページずつ、様々な方法で進める。
例：テキストを1-16章・17-26章・27-36章で3ブロック分け 問題演習・計算とセット・章扉から

output



財務理論 短答で問われやすい論点の例

- ◎ 原則・容認等の関係 ex.“～とする” ↔ “～できる”
- ◎ 容認規定等が認められるための要件の個数・内容
ex.“～、かつ、～の場合には、～できる”
- ◎ P/L・B/S・CF計算書上の表示区分
ex.販管費・営業外収益/費用、流動/固定、投資その他の資産
- 場合分け ex.“～の場合には、～とする”
- 計上するタイミング
- 計上金額(CFの見積方法、割引率、控除・加算する要素)
- 基準の適用範囲 ex.棚卸資産に該当するか?
- 特別な注記の要否
ex.解約不能のオペレーティングリースに係る未経過リース料の注記

問題を解き、**周辺**の結論・短答重要論点を**想起**。
テキストに戻り、マークを付け、周辺の重要箇所を復習。
テキストで覚えにくいところを強調。

input



テキストのうち**覚えにくい結論・容認規定要件等**について、消せるペンや付箋で強調。

大きな基礎知識の穴が無いか、テキスト章扉の「word」を確認し、不明点はすぐに本文確認。

じっくり読みたくなったら付箋を貼り、一旦はスピード感を持って先に進む。

管理会計論(計算/理論)

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。
2週間以内に論点1周を意識。理論の暗記詰め。

TAC

input



- テキスト目次を見て、**処理の場合分け**を想起。 ex.作業層の処理…2パターン
- 細かい計算処理・理論の暗記事項を意識して、テキスト本文確認。
- 原価計算基準原文を、**出やすい箇所を意識して**確認。

★具体的なイメージをしながら。
表現が異なっても、
判断ができるように。

ex.テキスト前半・後半共に13~18頁分ずつ→10日~12日で1周

★テキストを確認していて処理があやふやな論点は、
部分的にトレーニングで点検(解く、又は解法プロセスを説明)。



output



その日もしくは前日テキストを確認した単元について、
理論・計算ともに、サンプルテストとして、**少し問題を解く。**

テキストの周辺知識を**即座に**思い出せるか。

理論の答練…文章から誤りの箇所を探す力、
4肢の比較で**消去法で正誤判断する力**を向上/維持。

計算の答練…難易度の見極め、作業量を見積る力、正確性を向上/維持。
数字が合わない時に粘り過ぎない。

output



短答問題集・短答アクセス・短答答練の復習。

周辺知識を想起・点検。機関設計など**場合分けて説明**できるか？

よく間違える重要論点は、テキスト等を確認。まずは苦手な論点に取り組む。

input



- テキスト論点ごとのまとめ表等を点検。▼
- 覚えやすいように、できるだけ趣旨でおさえる。イメージをしつつ。
- **複数論点を比較**する。
- 付箋を貼り、何度も繰り返し想起。

機関設計自由の原則に対する例外（327条、328条）の内容・趣旨		
機関設計自由の原則の例外	条 文	趣 旨
公開会社は、取締役会を設置しなければならない。 （1号は次の2号以下優先して適用される）	327条1項1号	公開会社では、株主が多数かつ変動し、株主による会社経営およびその監督に期待できず、株主に代わる会社統治の担い手が必要となるからである。
監査役会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項2号	取締役会を設置しない簡素な機関構造を選択した会社が、監査の面についてだけ監査役会という複雑な仕組みを採用するニーズはないから、逆に、監査役会設置会社は取締役会の設置が強制されている。
監査等委員会設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項3号	監査等委員会設置会社は取締役会の監督機能を充実させるという目的で新設された株式会社制度だから、取締役会の設置が強制されている。
指名委員会等設置会社は、取締役会を設置しなければならない。 （非公開会社の場合に適用される）	327条1項4号	指名委員会等設置会社では、三委員会は取締役会の内部機関であり、その構成と権限行使は取締役会と密接不可分だからである（400条、401条、406条等）。
取締役会設置会社（監査等委員会設置会社および指名委員会等設置会社を除く）は、監査役を設置しなければならない。 ただし、非公開会社たる会計参与設置会社は、監査役を設置しなくてもよい。	327条2項本文 327条2項	取締役会設置会社では、株主に代わって業務執行を監査する専門機関が必要であるし、また、取締役会による監督（362条2項2号）には自己監督の弊害がありうるからである。 ただし、取締役会設置会社といえども、非公開会社では、株主が少数かつ変動しないから、株主による業務執行に対する監督にもある程度は期待できる。そこで、非公開会社

監査論 テキストの重要な箇所を暗記&演習。

TAC

★テキスト想起・暗記→該当単元の問題演習。

6章制度論など、細かい箇所の暗記を本試験までに詰める。

input



テキスト**目次**や章・節扉を見て、**要求事項等の場合分け**を数単元想起。

- 本文の要求事項や重要な脚注周辺について、重要な箇所から徐々に。
- テキスト内監査基準原文を、出やすい箇所を意識して確認。



output



その日又は前日テキスト確認・暗記した単元について、**少し問題を解く**。
テキストの知識を当てはめる意識で数問。**周辺を想起**。

答練をサンプルテストとして使用し、文章から誤りの箇所を探す力、
4肢の比較で**消去法で微妙な正誤判断をする能力**を向上/維持。

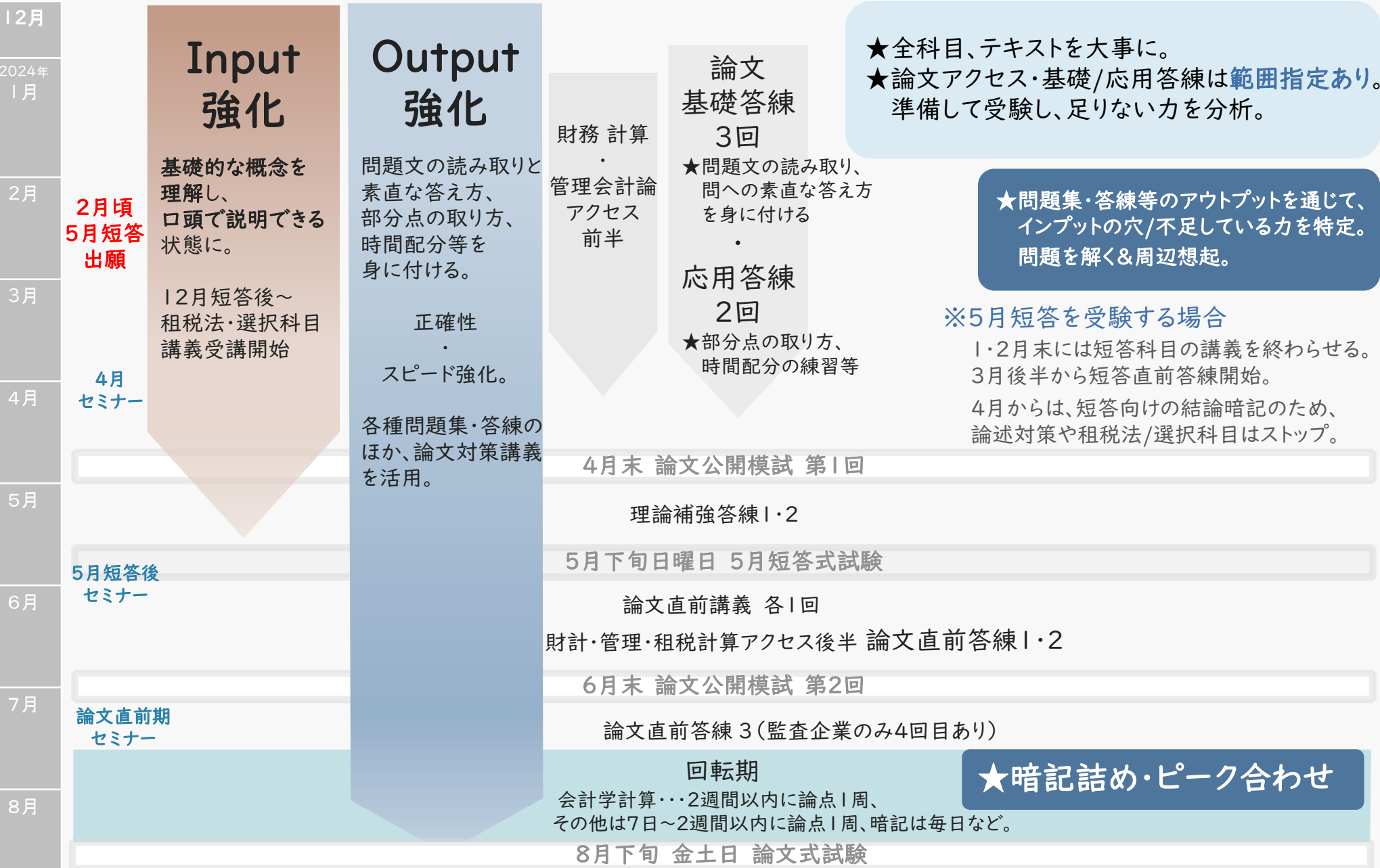
★初見の記述を見た時に、どこかで見た問題ではなく、
テキスト関連ページがよぎる状態に。

必要な3つの力・目安となる状態・使う教材/サポートまとめ

必要な力	目安となる状態	使う教材/サポート
テキストを理解	☒ テキストを読めば内容がわかる ☒ 比較が出来る（共通点・相違点） ☒ 具体例を挙げられる ☒ テキストを見ながらであれば、正解できる 規定の趣旨を言えるか？ ★基礎概念や理屈を理解すると暗記量が減らせる。	講義受講(何度も受講し直すのは避ける) 質問…質問コーナー/質問ルーム/24目標LINE オープンチャット/質問メール その他各種アウトプット教材⇔テキスト 理論科目 短答問題集…×の理由を考える。 比較。★演習を通じてインプットの穴を探す。
理解に加えて、 本試験当日に テキストの内容 を想起できる (暗記)	☒ 自力で初見の問題が正解できる ☒ 問題を解いた後（もしくは目次を見て）、 テキストの周辺論点が 場合分け で思い出せる ★ピーク合わせ…全体2週間以内、細かい暗記は 付箋を貼って試験直前の数日以内に暗記など	各種アウトプット教材(問題集、答練、アクセス、テキスト目次、財理章扉word)をきっかけとして繰り返し想起し、テキストへ戻る。 テキストチェックゼミ(財務計算実施・アーカイブ済、管理・監査は12月短答以降実施)。
理解・暗記に加えて 大きなやらかしをせず 得点に繋げ切る (試験中の行動)	☒ やらかしミスの対策・工夫をしている ☒ 時間配分で崩れない、粘り過ぎない ☒ 正誤の判断能力 ※×を探す。○は積極的には判断しない。 【論文】問題文を読み、テキストのどこが問われているか掴める。素直に過不足なく答えられる。 基準集が使える(監査論/租税法/財理/企業法)。	問題集・アクセス・答練・全国模試後に分析して修正行動を検討。 ★解き慣れていない問題で試す。やらかしミスを分析し、対策をメモ。常に工夫。 (論文理論科目の場合、オンライン質問ルームや質問コーナーで答案のフィードバックを受けるなど)

参考：12月短答以降のスケジュール目安

※詳細は12月短答後セミナーで説明



LINE公式アカウントによる重要情報のお知らせ

TAC

重要情報の入手漏れがないよう、
登録をお願いします。

目標年度・状況ごとに別アカウントで、
以下の内容をお知らせ。

24目標 初学者向け 公式LINE
<https://line.me/R/ti/p/@364glpzo>
LINE ID @24tac



- 本試験関連情報
- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表
(日程変更については、
別途メール通知サービスをご利用ください。)

24目標 短答リスタート生向け公式LINE
<https://line.me/R/ti/p/@342cpzli>
LINE ID @24tac_tan



- よくいただくご質問
- 模試の平均点速報
- 直前期・当日の注意点等

お知らせ内容のイメージ

▶ Twitter @hirabayashi_tac



保存 | 名前を付けて保存 | 転送 | Keep

午後 9:15



保存 | 名前を付けて保存 | 転送 | Keep

午後 9:15

■ 短答全国模試の手続が始まっています。会場受験希望の場合、いつもと違う校舎で受験がおすすめです。詳しくはweb school「講座からのお知らせ」欄をどうぞ。

■ 短答基礎答練2の正答率速報値が、web school「教材」に上がりました。
受験生の多くが正解している問題について、復習未実施・暗記やメンテ不足・時間配分などの原因分析や復習にご活用ください。

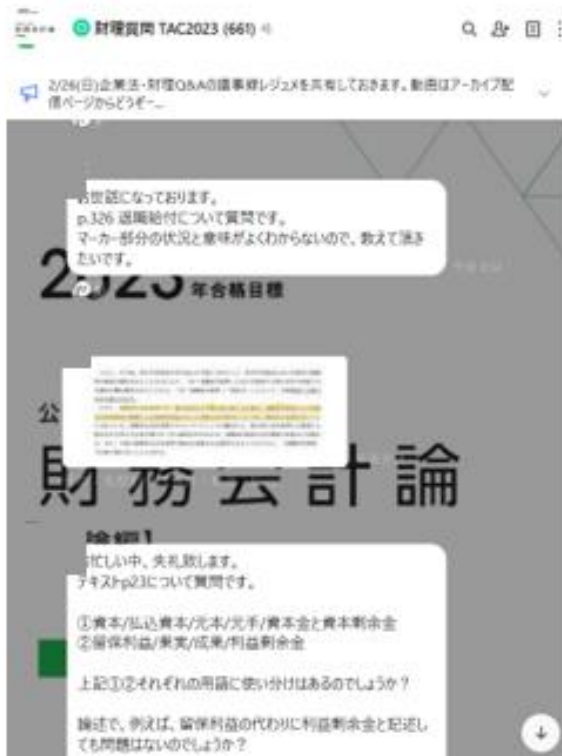
★校舎の日程で受けそびれた通学生は、受付で受取・受験/提出できます👍 会員証があれば、どの校舎でも当日に事前手

LINEオープンチャットでの質問対応について

掲示板のような形式で、匿名で講師に質問できる。画像貼付も可能。

対応講師 財理・学習法：平林 監査論：岡田

参加方法・・・Web School 下段 「受講生専用ページ」



各種サポート



Web School「受講生専用ページ」参照

TAC

1. 情報提供

- 公式LINE
- 定期的なオンラインセミナー

学習の進め方に不安がない場合も、
重要情報の入手や
短期・中期目標確認のため利用。



サポート一覧HP

2. 1対複数の相談対応

- オンライン質問ルーム(挙手やチャットで質問可能・見学参加もOK)
- LINEオープンチャット(上級期から、学習法・財理・監査論につき開設)

3. 1対1の相談対応

- オンライン/対面質問コーナー 通信生も、校舎の質問コーナー利用OK！

- Web School 質問メール
- 個別成績・学習方法相談

(毎週土曜13時、翌週分のみ予約受付)

- 就職サポート(短答生もOK)

(フリーダイヤル0120527699/メールcounselor@tac-school.co.jpで随時対応)

- 1対1の相談時、より具体的な話ができるように…
 - ✓質問・相談前に、直近で実施したオンラインセミナーの資料を確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)
 - ✓相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き/答案等を持参

